

介護職員キャリアアップモデル例

職掌	職能基準				人事制度	賃金制度	人材育成制度				人事考課制度										
	等級	業務	能力	資格・免許	役職名称	基本給 職能給	施設外での研修				施設内での研修	昇給昇格 賞与考課	在級年数 (基準)	評価の方法							
管理職	9	施設経営	①戦略的な経営計画の企画・立案・推進 ②組織運営管理	①利用者の医学的管理 ②チームケアの統括管理	施設長 (管理者)	施設長	エキスパート研修				自己啓発	業績評価	推薦 人事考課 論文・面接								
	8	管理業務	③経営層のサポート危機管理能力 ④プロジェクト管理能力	施設長を補佐するに相当する と評価する資格または経験 ・職業能力開発推進者 ・雇用管理責任者 ・主任介護支援専門員	副施設長 事務長		管理者(職) 研修会 介護老人保健施設 経営セミナー	導者養成研修 認知症介護指													
監督・指導職	7	施設運営 管理業務	①事業計画策定への提言能力 ②危機管理能力 ③部下の育成能力 ④プロジェクト管理能力 ⑤統率力(士気高揚) ⑥職場の維持管理・人間関係まで含めた総合的な労務管理において、 適切な判断・対応がとれる	・介護支援専門員 ・ユニットリーダー ・施設内感染症防止対策指 導者 ・介護福祉士養成実習施設 実習指導者	科(課)長	事務長 ↑ 科(課)長 ↓ 副科(課)長 ↓ 主任 ↓ 副主任	エキスパート研修				目標管理活動	能力評価 勤務成績 評価 (貢献度)	5年 5年	推薦 人事考課 論文・面接							
	6	監督業務	①監督力 ②事業計画策定への提言 ③上級者不在時の災害発生に指揮をとることができる ④潜在的な問題について、予知・判断しながら問題提起することができる		副科(課)長		管理者(職) 研修会	養成講座 マネージャー 施設リスク 介護老人 保健													
	5	業務指導	①指導力 ②労務管理の手続き等の基礎知識があり、一応の判断・対応がとれる ③達成がかなり困難な課題について、上司の指示によりグループをまと め問題解決にあたること		主任		エキスパート研修	対策指導者養成研修会 施設内感染症防止	ユニットリーダー研修	施設実習指導者 特別研修会 介護福祉士養成実習					サービス事業 管理者研修 認知症対応型						
業務職	4	上級業務	①業務に関する経験をもとに、複雑な判断を要する業務を遂行できる ②標準的な課題について、上司の指示によりグループをまとめ問題解決 にあたること ③下級者の指導を責任者として行うことができる	左記に相当すると評価する他 の資格・免許 ・介護福祉士 ・ガイドヘルパー ・精神障害者ホームヘルパー ・難病患者等ホームヘルパー	1級職員	副主任	エキスパート研修				目標管理活動	5年	推薦 人事考課 論文・面接								
	3	中級業務	①実務に関する比較的高度な知識および比較的高度な経験をもとに、 応用的判断を要する業務を遂行できる ②問題解決法を身につけ、業務の改善や問題解決を実践できる ③下級者に自己の経験を生かし指導できる		2級職員		ボトムアップ研修	(専門実技修得コース) 実地研修Bコース	中堅職員研修会	安全推進セミナー 介護老人保健施設				ガイドヘルパー養成研修	ホームヘルパー養成研修 精神障害者	ホームヘルパー養成研修 難病患者等	リーダー研修 認知症介護実践	●年間教育計画のフォ ローアップを行う ●年内教育計画を立て、 実施を行う ●介護福祉資格取得 ●認知症ケア専門士 試験			
	2	定型業務	①社会人・組織人・介護職員として自己を確立する ②通常の業務に精通し、日常の定型業務を独立して遂行できる ③下級者に自己の経験を生かしアドバイスができる		・ヘルパー1級 ・介護職員基礎研修		3級職員	チームケア研修	(基礎実技修得コース) 実地研修Aコース	リハビリテーション研修会				認知症高齢者ケア研修会	ケアマネジメント実践講座	高齢者ケアプラン策定 実践講座	摂食・嚥下・栄養	リハビリテーション	現場での認知症のケア	認知症介護実践研修	●採用時研修 ・業務マニュアルによる ケアの基礎知識 ・サービス規律 ・接遇研修 ・個人情報保護法
	1	補助業務	①社会人・組織人・介護職員としての基本的なスタンスを確立する ②実務に関する基本的知識をもとに、一般的な判断を要する定型的また は補助的業務を遂行できる ③対人援助技術の基本を身につける		・ヘルパー2級		4級職員	ボトムアップ研修	職員基礎 研修会	介護老人 保健施設 安全セミナー (基礎研修)				●プリセプターシップ							